

# 長野にボランティアを派遣

## 宗派・本山

宗派と本山本願寺は昨年10月の台風19号で大きな被害を受けた長野県千曲川周辺に、ボランティアとして職員を派遣した(写真左)。

11月から12月にかけて3回、延べ19人を派



て、長野市内の浸水したリンゴ農園で被害を受けたリンゴの撤去作業などを行った。

遣。天井まで浸水した徒が所有するリンゴ農園と長野県信州農業再

真宗大谷派の寺院で土砂の撤去作業を行った

ほか、長野市北部災害ボランティアセンター

に登録して民家の土砂のかき出しや屋内の片付けを手伝った。また

長野県信州農業再生復興ボランティアとして

平成30年7月豪雨災害に寄せられた支援への恩返しとして経験を

生かしたボランティア活動をと、被害を免れ

興ボランティアとして

て、長野市内の浸水したリンゴ農園で被害を

受けたリンゴの撤去作業などを行った。

たリンゴの収穫(写真下)や農園に堆積した土砂のかき出しを行った。

社会部へ災害対策担当Vは白洲特設テントで開催する「東日本大震災被災地物産展」で、

同教区は広島別院の報恩講法要に長野のリンゴをお供えし、お下がりと

し、お下がりとしてお斎に添えた。

◇ 本山の御正忌報恩講期間中、

